

## 令和5年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	33.1	学校名	静岡県立清水南高校 静岡県立清水南高校中部	校長名	小野田 秀生
------	------	-----	--------------------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	新学習指導要領に基づいた授業改善を進め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。	「授業で力がついた」と答える生徒の割合:80%	中部部：89.4% 高 校：85.7% 全 体：87.6%	A	中部部は現状維持、高校は約10ポイント上昇し、目標を達成した。今後も、「生徒が主体的に思考する授業づくり」を推進していく。
		授業公開週間実施回数:年間3回 外部講師による講演満足度:80%	授業公開週間： 年間3回 外部講師による講演満足度： 77.5%	A	目標を達成した。今後も、外部講師による講演等を活用し、生徒の学習意欲が高まる講演を開催していく。
		週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合:80%	中部部：80.7% 高 校：67.7% 全 体：74.2%	B	中部部は減少、高校は微増となり、目標を達成することができなかった。生徒が学習習慣を身に付けるための方策を考える必要がある。
		校内研修での学びを生かして授業改善に取り組んだ教員の割合:80%	88.2%	A	目標を達成した。今後もICTを有効に活用し、生徒の思考が深まる授業づくりに資する研修を計画、実施していく。
イ	中高6年間を見通したキャリア教育の充実を図る。	「自らの進路についてより深く考えるようになった」と答える生徒の割合:80%	中部部：82.0% 高 校：92.5% 全 体：87.3%	A	中部部は、高校とも増加し、目標を達成した。今後も、生徒が自分の在り方、生き方を考える機会を作り出していく。
		講演、講義等の回数:年間合計10回	中1:5回 中2:3回 中3:2回 高1:3回 高2:4回 高3:5回 計22回	A	目標を大幅に上回った。今後も、6年間を見通した計画を作成、実施し、生徒が自分の在り方、生き方を考える講演、講義の実施していく。
		大学、企業等の訪問・見学等回数:年間合計10回	中1:2回 中2:1回 中3:2回 高1:1回 高2:4回 高3:3回 計13回	A	目標を上回った。今後も、6年間を見通した計画的に大学や企業への訪問、見学を実施し、生徒が自分の在り方、生き方を考える機会を作り出していく。
ウ	自己有用感を高めるとともに、教育相談体制を充実させ、心身ともに健康な生徒を育成する。	「自分には良いところがある」と答える生徒の割合:70%	中部部：74.7% 高 校：68.7% 全 体：71.7%	A	中部部、高校とも増加し、目標を達成した。今後も、他者との交流を通して自己有用感を高める取組を行っていく。
		「自ら進んであいさつをしている」と答える生徒の割合:80%	中部部：76.7% 高 校：81.7% 全 体：79.2%	A	中部部は減少、高校は増加し、概ね目標を達成した。今後も、生徒が生活習慣を身に付けるために声掛けを行っていく。

様式第3号

		教員参加による交通安全街頭指導の実施:年間10回	7回	B	目標を達成することができなかった。外部人材の活用やPTAとの協力により、教員の負担を増やすことなく、生徒が他者や自らの安全を守る行動がとれるよう指導していく。
		長期欠席生徒(年間欠席30日以上)及び転退学者:0人	中等部: 長期欠席者19人 高校: 長期欠席者5人 転学者11人	D	目標を達成することができなかった。今後も、専門家の知見を活用しながら、全職員で多様な生徒に寄り添い、支えていく。
		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合: 80%	中等部:82.3% 高校:77.6% 全体:79.9%	A	目標を達成した。今後も、日々生徒の信頼に応える対話を行っていく。
		「保健だより」の発行: 年間12回	12回	A	目標を達成した。今後も、発行していく。
エ	学校行事、部活動等の充実を図るとともに、アカデミック・ハイスクールの取組を推進し、豊かな感性や表現力を育てる。	部活動に一生懸命取り組む生徒の割合: 80%以上	中等部:86.4% 高校:81.2% 全体:83.8%	A	中等部は減少、高校は増加し、目標を達成した。今後も、充実した部活動の運営に取り組んでいく。
		読書活動の生徒充実度:70% 図書館貸出数: 4000冊以上	ビブリオバトルが楽しかった: 90.0% 貸出数:4,623冊	A	目標を達成した。高校では、本年度はこれまでの全校読書会をビブリオバトルに代え、生徒の読書活動が活性化する取組を行った。
		「学校生活が充実している」と答える生徒の割合: 70%	中等部:89.4% 高校:79.6% 全体:84.5%	A	中等部、高校とも増加し、大幅に目標を達成した。今後も、生徒が安全安心を感じながら学校生活を送るための環境づくりに取り組んでいく。
		研修旅行で「充実している」と答える生徒の割合:90%以上	中2:96.8% 中3:98.9% 高2:97.3%	A	目標を達成した。中2が京都・奈良、中3が台湾、高2がシンガポールでの研修を行った。今後も、6年間で計画的な目標を立て、研修旅行を実施していく。
		「表現」で「協調性、表現力、集中力が身に付いた」と答える生徒の割合:80%	約80%	B	目標を達成した。今後も、外部人材の活用や年間指導計画の改善に取り組んでいく。
		芸術鑑賞、校内演奏会、公開レッスン等実施回数:年間計10回	音楽科:14回	A	目標を達成した。今後も、外部人材を活用し、充実した専門的な技術指導を実施していく。
		美術鑑賞、実技講習会等実施回数:年間計10回	美術科:22回	A	目標を達成した。今後も、外部人材を活用し、充実した専門的な技術指導を実施していく。
オ	郷土文化への理解を深めるとともに、地域社会や産学官の連携を推進する。	奉仕活動や社会貢献活動に参加したと答える生徒の割合: 60%以上	中等部:41.8% 高校:39.5% 全体:40.6%	C	目標を達成することができなかった。生徒が社会と協働する機会を作り出していく。

様式第3号

オ		海外交流行事等実施:1回以上	2回	A	目標を達成した。マレーシアの学校の生徒との交流、ウクライナバレエ団のダンサーとの平和について考える機会を実施した。今後も、充実した海外交流行事を計画、実施していく。
		実践的防災訓練実施:年間3回 地域防災訓練参加率:中等部50%、高校45%	防災訓練:3回 地域防災参加率: 中等部:38.3% 高校:25.8% 全体:32.1%	C	防災訓練は目標を達成したが、地域防災訓練への参加率は、目標を達成することができなかった。地域により津波注意報の発令中で訓練が中止されたことも要因の1つとして考えられるが、今後も生徒への呼びかけを重ねていく。
		土曜オープンスクール参加者数: 年間1,600人 ホームページアクセス: 年間500,000件	オープンスクール参加者:1,295人 HP:1,323,756件	A	オープンスクールの参加者は目標を達成することができなかったが、中等部入試の倍率は、1.48倍となった。今後もSNS等を活用し、積極的に学校の取組を発信していく。
		平常の清掃、学期初めと終わりの清掃及び全校清掃の徹底	美化委員会を中心実施	A	美化委員会を中心に、生徒が呼びかけ、清掃の徹底をすることができた。
カ	安心・安全な教育環境の整備、事務業務の効率化、働き方改革を含めた業務改善を行う。	予算執行等に関する校内研修会の開催:年1回	2回実施	A	校内研修会の開催により、適正な会計処理が行われた。今後も学校徴収金の取扱いなどの研修を実施し、職員の意識を高める。
		講話や研修等の取組:月1回以上	年12回実施	A	目標どおり実施した。今後も教育課題に即した講話や研修を実施していく。
		夏季休暇の取得率:100% 時間外勤務一ヶ月平均45時間以上の教職員数を前年度より減少させる	夏季休暇の取得率:100% 時間外勤務一ヶ月平均45時間以上の教職員の割合: 中等部:50.3% 高校:37.1% 全体:43.7%	A	夏季休暇は100%取得し、目標を達成した。時間外勤務一ヶ月45時間以上の教職員の割合は、中等部は微増、高校は減少した。部活動指導員の活用による効果もあったと考えられる。今後も、多忙化の要因となる業務の削減を目指して改善に取り組む。
	職員会議における報告の簡潔化と審議の効率化による勤務時間内での会議の終了	概ね予定時間内に終了	A	報告の簡潔化と審議の効率化を念頭に議題を精選し、概ね予定時間達成することができた。	